

テーマ「情報共有及び市政参画を進める上での課題」

第1回(H27.1.24) 尼崎らしいまちづくりのルールを考えるタウンミーティング「意見交換で出た課題」のまとめ

① 私の課題	② みんなの課題	③ 行政の課題
<p>つながり(関係性)が希薄になっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合いが少ない ・お隣さんとの付き合いがない ・仲間づくりができていない <p>課題意識の共有や人間関係の構築が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か一緒にやろうという人達との意識の共有 ・人との信頼関係をどうつくるのか <p>若年層との接点がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層との接点が少なく、斬新な情報が入り難い <p>そもそも市政や地域に関心を持っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や市政に無関心な人が多い ・同世代の参加や関心が少ない ・市の行事に興味を持っていない ・市(まち)を良くしようとする意欲がない <p>興味・関心があることしかしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心があることでないと参加しない ・自分の興味のある情報しか入手しようとしな <p>関わる時間がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間がなくて情報を得る暇がない ・市政に参画する時間がない ・サラリーマンは地域活動する時間がない ・団体の活動を進める上で、情報を集めたいが日常の活動に追われる <p>困っていないので必要性を感じない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報を読めば情報を得られるのであまり困らない ・別に生活に困っていない人が多い ・日常生活で課題が気にならない ・普段、地域に関わることがない <p>自分で行動しようとしな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何とかしようとするより転出していく ・動かずに文句ばかり ・住民に自治意識が見られない ・共生意識がない <p>自ら、参画しようとしな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加しない ・ラジオ体操に参加していない ・行事などがあることを知り、参加してみると面白いこともあるが、そこまで行かない ・投票率が低い <p>必要性は感じるが、人間関係が煩わしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・煩わしい人間関係は嫌だが困ったときは助けてほしい 	<p>つながり(関係性)が希薄になっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間のコミュニティが希薄 ・マンションだと隣の人がどんな人かわからない <p>居場所づくりができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の居場所がない <p>若年層との接点がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者と話さないと情報が入らないが、きっかけがない ・若い世代がいない(接点がない) <p>新旧住民の交流や地域間の交流ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の東西、南北の交流 ・新住民と旧住民との交流が難しい <p>団体間の交流ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体のネットワークが不十分 ・他団体との繋がりが薄い <p>関心・意欲がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいことにチャレンジしようとしな ・団体のメンバー募集への意欲がない <p>住民の意識に温度差がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心のある人、ない人の差 ・活発な方とそうでない方の差が大きい <p>参画のハードルが高い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードルが高い印象がある ・集まりに参加する不安感 ・参加しにくい雰囲気がある <p>魅力的な地域活動がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすい、参加したくなるような内容にする <p>マンションなどでは役員がすぐに代わってしまう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表がすぐ代わって継続性がない ・役員がころころ代わるため、課題が共有できない ・役員の任期が短いため、情報やノウハウの蓄積が困難 <p>地域団体の人材が不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体のリーダーやメンバーが不足している ・団体組織の人材不足 <p>地区によってばらつきがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとで動きはあるが全市的なまとまりがない ・6地区で取り組まれている同分野での活動の情報がまとまって得にくい <p>組織づくりが十分でない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の硬直化 ・現在の組織の改革 ・町会、自治会の再構築 <p>町会の良さや活動内容などが上手く伝わっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の存在がよくわからない ・町会は面倒とってしまう、良さがわからない ・町会行事への参加の呼びかけ方法が良くない <p>町会の会員が減っており、活動も活発でない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の加入者が減っている ・町会の会員を増やすには ・町会の活性化 <p>町会の世代交代ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会の古い方を何とかして ・町会会長の任期が長い <p>町会は若い人があまり活動していない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会での公園の掃除に若い人が行っていない ・子供が少ない(町会) <p>町会の活動内容が魅力的でない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会は募金活動が主体となっている <p>町会がそもそも存在しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会がない 	<p>新たなつながりをつくろうとしていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の団体に頼りすぎ <p>積極的に市民や団体と関わろうとしていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、団体を信じられていない? <p>参画のハードルが高い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、支所等の室内で飲食ができない ・井戸端会議の敷居が高い ・誰でも参加できる、新しい行事を出してほしい <p>市民活動への支援ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動への支援が不十分 <p>積極的な情報公開や提供ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開、提供していくことに対してびびり過ぎ <p>行政職員は柔軟性が欠けている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員の頭が固い <p>行政組織が縦割りになっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政は横の繋がりが薄い <p>市民の声をきちんと聴けていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政に提案してもきちんと受け止めてもらえない ・情報が行政からの一方通行となることが多い ・市民との対話が少ない ・市の情報交換(公開含む)が不十分 <p>行政のどこに相談したり、要望を出せばいいかわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かあった時、どこに話を持っていくかわからない ・市への苦情や要望はどこに言えばいいの? ・担当課がどこかわからない ・地域のどんな課題は、市のどの部署に言えばいいのか ・市の問い合わせに対する受け口 ・市役所のタッチパネルがほしい ・市の相談員の質が悪く文句を言いたくても方法がない

① 私の課題	② みんなの課題	③ 行政の課題
<p>情報媒体を上手く活用できない</p> <ul style="list-style-type: none"> facebookなどが得意でない SNSの活用アドバイス 情報力の格差（パソコン、携帯など） <p>自ら、情報を収集しようとしていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 公の情報への関心が薄い 多様な情報を得ようとしていない 聞こうとする意欲がない その辺の立ち話で色んなことを知ることが大事 <p>参画の方法がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな風に参加すれば良いかわからない <p>情報の発信や取得の方法がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> 口コミでどう広げたら良いかわからない 誰に伝えれば良いかわからない 提供したい情報を汲み上げる手段がない 情報の取り方がわからない ご近所の情報が分からない（町会、お店など） どこにどのような情報があるか、あまり分からない 必要な情報を探せるか心配 <p>情報を知るきっかけ(機会)がない</p> <ul style="list-style-type: none"> 市報やHPを見る機会がない 	<p>情報媒体を上手く活用できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 回覧板を回しても留守がちな家が多く、早く回らない コミュニティ掲示板の数が少ない？ 回覧板の形式化。また、町会に入会されていない人にはどうやって情報共有するのか？ <p>効果的な情報発信・共有ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議を開いても参加してくれない。市民に伝わらない 市民団体は頑張っておられるが、地域へ広まらない 情報共有するための手段、方法はどうか 自治会員でない人への情報共有の仕方 <p>情報が得るのが難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域団体（特に地縁団体）の情報が不足している <p>関係性がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政と市民団体との関係がわからない <p>団体へのアクセスの方法がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> アクセス方法がわからない 	<p>情報媒体を上手く活用できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ITが形骸化しており活用しきれていない 動画を活用できていない 市のHPがわかりにくい（検索が難しいなど） 市報がわかりにくく、見にくい SNSの利便性と閉鎖性 <p>市民が関心を持つような情報が発信できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政情報に魅力がない 市の情報は面白くないし、難しいイメージがある 市民の関心が多様化しており、知りたい情報を出していないのでは？ 統治機構としての情報しかない <p>情報の出し方(伝え方)が良くない</p> <ul style="list-style-type: none"> 色んな情報が出されるが全部を見ることがあまりない インパクトのない情報を出している 情報が整理されない わかりやすい言葉で発信できていない チラシなども施設におくだけでは見てもらえない 公共施設などにチラシがあるが無駄が多い チラシやHPで広報しているが市民が受ける状態でない 広報下手 介護保険等のパブリックコメントの情報がわかりにくい（意見が言いにくい） <p>効果的な情報発信の方法がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> 「伝わる」ためにどうしたら良いかわからない 情報を受け取ってもらえるように興味や関心を高めるにはどうすれば良いか <p>市の方針がわからない</p> <ul style="list-style-type: none"> 市長の方向性が明確にわからない 色々な市の方針がわからない <p>情報を出すタイミングが遅い</p> <ul style="list-style-type: none"> 市報の情報のタイムラグ（2ヶ月前） 市の政策を決めるまでの情報が手に入らない 立案する段階で知りたい 公開できるものはどんどん出してほしい <p>ターゲットが明確になっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての人に全ての情報を完全に伝えないといけないと思っている ターゲットを絞った情報発信ができていない 発信先の絞り込みができていない
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人、個人を活かせる社会づくり 尼崎市制100年記念日を施行日の4月1日にする 新たに移住する魅力のアピール点は？ 小田地区で何に関われるか ゴミは正しく出そう 市民意識って本当にあるの？ 自宅は寝るだけ、遊びは大阪 活動時間がダブル 日本人はボランティアの気持ちがない 自転車の無灯火が多い ゴミ出しの曜日を守らない パチンコ店が多い 駐輪場に自転車を止めない 鳩の糞が汚い 海外にも尼崎の良さを知ってもらいたい 公用トイレの水が出っ放しになっている 我がままでもお互い様 受け手の姿勢 視野が狭くなりがち 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンマン理事長がいる 今日のテーマをどう共有し、実行促すのか 町会とかで意見が合わないときに、はじかれない様にするには？ 「横並び」を求め過ぎる 声の大きさ、力の強さによって変わってしまう 事務局の有無。情報力の格差 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園のゴミ箱が不要 公園が汚い 防災マップも立派なののできたので、市の職員や議員は尼崎に居住を！ 聖トマス跡地の件 行政が地域によって対応が違う 稲村市長が全ての地域に来てくれない 市の財政が毎年赤字で不安 地域猫対策が知られていない 動物愛護センターのやり方が良くない 尼崎市制誕生日がなぜ10月8日なのか 議員が就職のように考えている。なっていない 財政難（人手不足） 議員は何やってんの？ 1（行政）対多（市民、団体など）の関係 パブコメに画像が付けられない 尼100サポート事業のグループが乱立しバラバラ データシステムの老朽化（システムの互換性のなさ） 議員会館の利用方法がわからない

テーマ「情報共有及び市政参画を進める上で、それぞれが取り組むこと」

アイデア

第1回(H27.1.24) 尼崎らしいまちづくりのルールを考えるタウンミーティング「振り返りシート」のまとめ

① 私がすること、できること	② みんなですること、できること	③ 行政主体ですること、①②のために行政がすること
<p>自ら、身近なところからつながりをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代に積極的に話しかけ、話題を共有する 近所からつながりを広げ、仲間づくりを大事にする 今日のつながりを大事にする 今まで通り、市政に関心を持ち、地域コミュニティの活性のため、近所付き合い、挨拶などを積極的に行う <p>自ら、積極的に参画してみる</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民懇話会に参加する 自分の地域の活動に参加してみる 情報に関するアンテナを張り、積極的にイベントや行事に参加する 定年後に地域活動に参加する 色んなことに興味を持ち、機会を捉えて参画する <p>自ら、活動を始める</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のできることで良いから、周りの人との関係を広げたり、何かお役に立つことをやってみる まずは自分にできることから行動してみる 自分から興味があることや、まちをより良くしていける活動をすすんでやること 地域で気付いたことを行動に移す(ボランティアなど) まず地域での情報及び人間関係を築き、気付いたことから行動を起こす。そうすると周りが動くようになる <p>自ら、市政や地域のことに関心を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> 市政や地域のことを知ろうとする 尼崎の魅力を知る 郷土愛を持って、関心を高める 住民税の額を確認して、使われ方をチェックする 今まででなかった自転車が放置されている→誰が置いたのか?→住民の移動があったのか?など、身近なことから地域に対する関心を高めていく わからないことは調べる(民生委員や自治会、議員、制度など) <p>地域のリーダーに協力する</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域リーダーの必要性 地域において、従来のオピニオンリーダーが機能していない。その人たちの知恵を生かすよう協力したい 	<p>みんなで、身近な地域でつながりをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 新住民と旧住民との交流を促進する ネットワークづくりを大切にする 市民同士で情報交換をし、横のつながりをつくる 声を掛け合い、グループづくりをする このようなミーティングで知り合いになった方とミニグループをつくる つながりをみんながもう1つコネクトする 郷土愛を持つ者同士をつなぐ ネットワーク(人、モノ、情報など)を活かして交流、活動を行う <p>みんなで知恵を出し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 共通する情報を共有し、知恵を出し合って問題解決にあたる できるだけ話し合いを重ねることにより、現代社会にふさわしい公共圏を創造する <p>参加しやすい具体的な活動を企画する</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードルの低い、参加しやすいイベントを企画し、企画のきっかけづくりをする 自分たちの地域に参加する人が増えるよう、具体的な取組を行ってみる 防災マップの作成など、行政と地域(市民)が一緒に具体的な取り組みを行う 共通の意識のある人たちと協働する <p>団体の活動を開き、周りの人を巻き込んでいく</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体活動を閉鎖的にしない 地域活動を広げていく 自分から進んで活動することを見て、賛同者が集まってみんなでやる 仲間で集い、引きこもっている人も誘い出す 地域の情報を共有し、様々な集まり、行事に積極的に参加する <p>団体間の交流を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の団体との交流。相互認識を深め合う <p>関心のあるテーマを基に地域を越えてつながりをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 関心を共有するグループで、地区、地域を越えて関心の輪を広げ、深める(情報発信、共通課題へ共同での取り組み) 	<p>地域の活動を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民団体、地域団体への支援の拡大 ミニグループでの会議室等の使用において使用料金を補助する <p>市民や団体の間をつなぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域間交流を行政が間をつなぐなど支援する 魅力的な交流広場を開催する団体に援助する 個人、団体間のコーディネーター役に尽きるのはいか?でも最近、お祭りに力を入れ過ぎか? 懇話会を機会にグループづくりをしてはどうか 高齢者と若者の融合。高齢者が持っている力を生かす <p>市民活動の情報を発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の地域活動に対する情報提供をやすくする 他市の成功している情報を流す <p>地域人材の育成を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動をする人の育成を援助する 地域ボランティア育成の体制づくり ネットワークを活かして交流、活動のために行政、団体で人づくり <p>職員が市民と交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の中にもっと積極的に入り、根気強く付き合う 市職員自身もプライベートの時間で、市民活動に参加する 他の人や団体と組む <p>市議会議員が市民との距離を縮める</p> <ul style="list-style-type: none"> 議員がもっと市民に市政について説明するべき。その上で市民(自分の支援者以外の不特定多数の市民)と対話する機会を増やして、市の政策に反映させる 議員の活動を利用する 議員の方がこういう会に参加するよう行政が動くべき 働き盛りの人も市政に参加できる時間や場所でために集まりをつくり、そこに議員を同席させる 市議会議員が活性化地区分を担うようにする 市が市議会議員に役割を与える 私の身近でも将来の尼崎について、危機感を多くの人が持っていると思う。個人としては仕事、家庭等があり、市政に参画するには限界があると思う。その仕組みづくりにもう少し市議会議員を活用することができないか
<p>自治会、町会に興味を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> まずは身近なコミュニティ(近所、町内会等)に関心を持つ 地域組織に少し関わる <p>自治会、町会の活動を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会、自治会への勧誘の仕方、体制の見直し(入会しない人が多い) 自治会の催しを楽しんでもらえるように続けていく <p>行政職員と交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政職員とつながる、仲良くなる 	<p>自治会、町会の情報を発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会のPRチラシをポスティングで配布する 町会や団体のことをもっとPR(FMあまがさきの活用等) 防犯パトロールや地域清掃への参加を呼びかける <p>自治会、町会の活動を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会を活性化し、困りごとを共有して知恵を出し合う 社協(町会)の改革が必要 町会のあり方をもっと柔軟にする 町会のメリットをつくる 世代交代を積極的に進める 自治会の会議出席者にサービス券を配布する 	<p>広くみんなが話し合える場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民、団体などみんなが関わられるような機会をつくる 場所やきっかけを提供する 関心を共有する個人、グループがつながるような情報の発信、交流の場をつくる 気軽なミニタウンミーティングの数を増やす <p>「場」の持ち方を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりコンサルタント等も活用して、楽しく集えるイベント等も企画する 働いている人も参加できる時間、場所を設定する
<p>自ら、気軽に交流できる場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々人の顔合わせの場づくり 勝手に来て、勝手に帰ることのできる場づくり 地域での課題や他人の悩みなど出し合える場をつくる 地域、地区毎に情報発信基地をつくる 場の貸し出しをする 一杯飲みながらコミュニケーションをはかる 	<p>地域でみんなが話し合える場をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の住民が顔を合わせる機会を増やす(食事会など) ふれあい喫茶などを利用する 色んな課題を共有するために、様々な立場の人、性別も半々ぐらいで意見交換ができる場をつくる 若者が参加できるような場をつくる 地域の人が集まれる機会をつくる 地域団体の交流会を何度もつくる 井戸端会議をつくる 定例会議を持つ 	

① 私がすること、できること	② みんなですること、できること	③ 行政主体ですること、①②のために行政がすること
<p>身近な課題などを行政に伝えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パブコメに意見を出す ・意見を言う（但し、個人でやるべきことを行政に何でも要望するのではなく） ・行政に対して意見、問い合わせ、提案をどんどん行う ・色々な課題を声に出して伝え、市とつなぐ ・市政ロコミ隊やパブコメ集め隊をつくる <p>市政情報を積極的に収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無関心ではなく、欲しい情報を自分で集める ・情報を拾うよう、努力をする ・アンテナを複数持ち、かつ、感度を上げることで情報を取得し、取捨選択する <p>自ら、情報を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のために良い情報はどんどん発信する ・周囲にも知らせる ・地域のコミュニティの大切さを伝えること、自身の行っている業務が地域の人にとって、どんな役割を持っている、どんなメリットがあるのかをきちんと伝える ・自分が関心のある分野で、有益な情報を得た時に、友人、知人、仕事の仲間に関心を持っている人に伝える ・行政から得た情報は、極力早く会員に伝える ・団地の 1 階に住んでおり、お困りごとなど、何か聞きに来る人がいるので団地の「グーグルおじさん」を頑張ります。 <p>市民が自ら、関心を持つような情報に編集し発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットが使えない人が求めることなどを発信する ・日常生活で、問題意識を持ちながら、問題発見を行い、異なった立場の人々が関心があるような情報を発信する <p>情報媒体の活用方法を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT、動画、SNS の効果的な使い方、セミナー、広報戦略 	<p>身近な人に積極的に情報を発信していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人から情報伝達をする ・自分の信じたことや得たことを同じような立場の人達に積極的に発信する ・仲間と情報共有し、さらに広める <p>みんなで情報を発信していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で市政発信できる場をつくる。体制づくり ・個人の力では何もできないから、受信者の数を増やして、数の力で情報を発信する ・地域団体の活性化のための働きかけを行う。NPO などの団体も入れて情報を発信 <p>気軽に情報を共有できる仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板や落書き帳を置いて、自由に意見を出してもらう <p>情報媒体を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示板を有効活用する <p>情報媒体の使い方を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を行う（ネット活用など） ・SNS の講習会（公民館） 	<p>市民の声を聴く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちだけで考えない（他の意見を聞いて企画する） ・市の HP から、子育て世代、単身者、リタイア組など、それぞれの立場の意見を吸い上げるページをつくる ・参画手法はハードルが高すぎる。気軽に利用できる参画の仕組みをつくる <p>情報へのアクセシビリティを高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を拾いやすくする ・とにかく情報にアクセスしやすくすることに注力する ・ほしい情報がある人がいれば、その人のほしい情報を提供する仕組み。簡単なシステム ・コミュニティ掲示板を増やす <p>情報公開に関する職員の意識を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開、提供していくことに対してびびらない ・ありとあらゆる媒体でその時、最新の情報を常にわかりやすく開示しておく ・公平性にこだわり過ぎない（ex. ネットが使える、使えないなどこだわらない） ・縦割りの意識を変える <p>市民が関心を持つような情報に編集し発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく情報を整理し、発信する ・市民が「面白い」と思うような見せ方にする 画一的な見せ方、やり方をしない ・尼崎での活動を動画で発信して興味を持ってもらう ・「尼崎に住みたい」と思えるようなアピールをする <p>ターゲットを明確にして情報を発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報の情報を振り分け、ターゲットを絞って発信する ・不必要な情報を流さない <p>情報発信体制を高度化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報集約の部門をつくる ・ネット配信を手伝うための部署をつくる ・市役所の担当をどこかわかりやすくする <p>情報発信に関するスキルを高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT 専門家からセミナーを受ける ・広報のプロに発信して欲しい <p>情報発信の手法を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP に魅力的な内容を盛り込む ・市報に絵や写真を入れる。文章ばかりで分かりにくい。 ・市政情報の提供を簡素化（市報の見直し、HP 充実等） <p>市民の力を借りて情報発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面白い活動を市以外の人に発信してもらう <p>市民にわかりやすい表現をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政特有の言葉遣いを変える ・行政からの情報発信は発信力が強い反面、分かりやすく整理して発信しなければ市民が混乱するのでそこをより整理する必要がある <p>市民に情報媒体の使い方を教える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS を多くの人が利用できるよう講習会等を実施する
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民として、住んでいる、寝泊りしているが、日中の市民活動により多く関わることはないかと思った ・市報の新聞を見ていないから、よく見て参加したいと思います ・人と人のつながりを大切にする精神を思い出す ・日本人に足りないボランティア精神を意識し、積極的になる ・自分でできることは自分で解決する ・地域猫のアピールをする ・尼崎市制 100 周年記念の平成 28 年 10 月 8 日を市制施行日の平成 28 年 4 月 1 日にするよう要望する 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の市民祭りを高齢者だけのものにしない ・情報ごとに小さなグループづくりをして、そのグループを地域としてまとめていく作業 ・各団体のトップが意欲を持ち、リーダーシップを発揮 ・団体、行政、今までの組織では時代に合っていないのではないか。組織、役割の再構築が必要ではないか。各団体の相互協力ができる体制づくり ・子育て一番！とアピールする ・都市ー農村交流で、新鮮野菜を地域で売る ・ボランティア精神に目覚める ・平和ボケに目覚める ・道路、歩道にゴミを捨てない。他人のゴミをゴミ箱に ・防災訓練やペット同行避難をする ・平成 28 年 4 月 1 日に尼崎市制 100 年を祝う 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政への住民参画の機会を増やす ・不必要な事業を廃止し、人手を確保する ・尼崎市の窓口も ER（24 時間体制）のようにしてほしい ・自分に厳しく、他人に優しく ・直接請求、リコールの手法について、有権者の何分の 1 以上の署名については廃止して、良い政策は導入するようにした方が改革しやすい ・一般に地方議会が十分機能していない。市民的コミュニケーションが確保されるなら、自治体のリーダーシップが期待される ・地域猫や命尊重の啓発教育、猫についての条例、町会ぐるみの猫対策をすすめる ・パブコメ出したら 100 円